

四国中央市景観計画（案）へのご意見と市の回答について

- 1 タウンコメント募集期間 平成 28 年 6 月 20 日（月）～7 月 19 日（火）1 ヶ月
- 2 提出者 2 人
- 3 意見等の件数 5 件
- 4 計画（案）を修正した件数 0 件
- 5 意見等の概要及び市の考え方

（ご提出いただきましたご意見は、趣旨を損なわないよう要約または整理させていただいております。）

該当箇所	意見等	市の考え方	(案) 修正の有無
P20	<p>景観計画区域について</p> <p>「金生川周辺地域」を景観計画区域と定めた理由として挙げられている＜先導的に景観づくりに取り組むことで市民の目に触れ、効果の発現が最も期待される＞ことについて、そもそもの景観まちづくりの目的と必要性である＜街の魅力や活力の向上、観光振興を図る＞狙いとは少しズレを感じる。</p> <p>金生川周辺地域を魅力ある景観に再現・創造することについては、大いに賛成の手をあげるが、それが先導的かと問われると疑問に思うところがある。</p> <p>都市計画マスタープランの一文に、＜住んでいる人だけでなく、広い範囲の人々が魅力を感じられるような都市づくりを行うことが、結果的に住みやすい都市の整備に繋がる＞とあるように、金生川周辺が注目の観光スポットへの変貌を遂げることで、全国に紹介されたり、他県の市から視察に来るなどの「魅力」が感じられれば、この景観計画を実行に移す価値はあると思われる。</p>	<p>景観まちづくりの推進は、市にとって新たな取り組みとなるため、景観計画区域の設定を検討するなかで、市の一部の区域から取り組みを始め、将来は他の地域へも拡大していくこととしました。</p> <p>そこで、まずは古くから地域住民に愛され、関心が高い金生川周辺地区を計画区域に設定し取り組みを開始することにより、市民の皆様の景観への意識の醸成を図るという意味で、先導的という言葉を使用しました。</p> <p>また、区域内にある国指定の宇摩向山古墳を中心とした古墳群や、全国的にも珍しい紙のまち資料館、区域に近接する高原ふるさと館は博物館登録に向けリニューアル予定であるなど、景観区域を中心とした金生川周辺地域には、魅力的な資源が多くあり、市外からも注目される潜在力を持った地域です。景観計画をはじめとした各施策を活用し、魅力ある地域づくりに取り組むことが重要であると考えます。</p>	無

P25	<p>良好な景観形成に向けた基本理念について 「四国のまんなか 笑顔ひろがる景観まちづくり」、「守る」「育てる」「創る」に「ターゲットクラスター」を掛け合わせて、施策を考案してはどうか。</p> <p>例えば特定の「人」や「家族」の行動を想定し、どの様に過ごすのか・楽しむのか魅力的と思うのかを考えることにより、景観づくりの方向性は変わってくる様に思われる。</p> <p>住民意見交換会の意見として、3世代交流を進めることや、小学校との連携強化が必要とあるが、さらに地域企業と学校との結びつきを強化し、ボランティア活動のみならず、企業努力をプラスして河川の美化を目指すことができるのではないか。</p>	<p>P26の基本方針4には、『景観の多様な楽しみ方を提供する』と掲げておりますので、施策検討の際には、ご提案の手法についても参考にさせていただきます。</p> <p>企業との連携に関しましては、現在も金生川周辺の多くの企業がボランティア清掃や、草刈りなどに自主的に取り組まれています。学校をはじめ、地域の住民と地元企業の結びつきを強化することは、基本方針5の『景観づくりから「人づくり」、「まちづくり」に広げる』ことに繋がりますので、望ましいことであると考えます。</p>	無
P12～P16	<p>市民アンケートからみえたことについて 市民は、水質汚染や、騒音、異臭などの今まで手入れがされていない顕在化している周辺環境の問題を「調和」ではなく、早期「改善」として望んでいるのではないかと。またこうした問題点を、四国中央市ではない他の市民からみた四国中央市のイメージと比較することで、本当にテコ入れを行わなければならないポイントを浮き彫りにしていかなければならない。</p>	<p>P26の良好な景観の形成に向けた基本方針1では、『美しい河川景観を保全し、親しみのある水辺景観の魅力を高める』とあり、本文では、金生川の美しい景観を守るため、水質保全や河川敷の美化等に取り組むことが示されております。</p> <p>この方針に基づき、ご指摘の早期改善を望まれている課題につきましても解決に向けて取り組んでまいります。</p>	無
全般	<p>景観計画区域を市域の一部に限定して設定すること、良好な景観形成に向けた取り組みについては、策定に賛成する。</p>	<p>一部地域に限定してスタートしますが、将来は地域を拡大し、全市的な景観形成の取組につなげていくことを目指しています。</p>	無
全般	<p>昨年妻鳥公民館において、各家々に木を植え「町を森にする」案について愛媛大学教授のお話がありました。妻鳥町三皇神社・棹の森がだんだん小さくなっております。一考いただければ幸いです。</p>	<p>景観計画には、景観重要樹木の指定により適切な保全・管理を行うことができる規定が設けられており、樹木が景観上重要であると認識しております。今後、景観区域が拡大される際には、十分に検討を行いたいと考えています。</p>	無